

2022 年 11 月 4 日

BMW iX が、2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、栄えある 10 ベスト・カーに選出

BMW グループからの 10 ベスト・カーの選出は 13 年連続

BMW iX が、一般社団法人「日本カー・オブ・ザ・イヤー」実行委員会（実行委員長：清水謙一）主催の 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、並みいる強豪をおさえ、栄えある 10 ベスト・カーに選出された。

2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2021 年 11 月 1 日から 2022 年 10 月 31 日までに発表または発売された多くの国産車、輸入車が選考対象となるが、BMW iX は一次選考において、上位 10 モデルとなる 10 ベスト・カーの栄冠に輝いた。

BMW グループにおいては、10 年前の 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、BMW 3 シリーズが輸入車の頂点となるインポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いており、また、7 年前の 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいても、BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/グラン ツアラーが、インポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いている。

さらに、2 年前の 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいては、最新モデルの BMW 3 シリーズ セダンが輸入車の頂点となるインポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いている。

また、8 年前には BMW i3 がイノベーション部門賞（現：テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー）に、6 年前には BMW M2 がエモーショナル部門賞（現：パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー）に、4 年前には BMW X2 がエモーショナル部門賞（現：パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー）に、昨年は BMW 4 シリーズがデザイン・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いており、BMW グループの製品は、過去 13 年の内、インポート・カー・オブ・ザ・イヤーを含め、メジャーな賞を 7 つも受賞している。

BMW グループにおける過去 13 年の 10 ベスト・カー受賞歴

- 2010-2011 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2011-2012 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 1 シリーズ
- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2013-2014 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI ペースマン
- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/
グラン ツアラー
- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2017-2018 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン

- 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ グラン クーペ
- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX

BMW グループにおける過去 13 年の受賞歴

インポート・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/グラン ツアラー
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン

イノベーション部門賞（現: テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー）

- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3

エモーショナル部門賞（現: パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー）

- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2

デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ

BMW iX について

BMW iX は、SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）をベースに、コンセプト、デザイン、パワートレイン等、その全てにおいて、BMW が次世代を見据えて開発したモデルであり、サステナブル（持続可能性）であることを目的に、パワートレインには電気モーターを採用し、大型のリチウム・イオン・バッテリーを搭載した、長距離走行を可能とした次世代電気自動車である。BMW iX には 3 つのモデルがあり、満充電にて、BMW iX xDrive40 は 450km、BMW iX xDrive50 は 650km、BMW iX M60 は 615km の走行が可能である。

日本カー・オブ・ザ・イヤーについて

「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、日本のモータリゼーションの発展とコンシューマーへの最新モデルおよび最新技術の周知を目的として、1980 年に創設された。

現在、一般社団法人 日本カー・オブ・ザ・イヤーが構成する日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会により運営されている。

選考対象となるクルマは、前年の 11 月 1 日より当年の 10 月 31 日までに日本国内において発表された乗用車で、60 名を上限とした選考委員の投票によって決定される。

また、その年を代表するクルマとなる「日本カー・オブ・ザ・イヤー」が日本メーカー車だった場合、海外メーカー車でもっとも多く得票したクルマに「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」が与えられる。

さらに4つの部門賞、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」、「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」、「パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー」、「K CAR オブ・ザ・イヤー」が設けられている。

1980年の創設以来「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、文字どおり日本を代表する“クルマの賞典”として、世界からも高く評価されている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>